

海外体験プログラム（ファカルティレッドプログラム/FL） 2017年夏実施プログラム 募集要項

I. 概要

海外体験プログラム（ファカルティレッドプログラム/FL）（以下「FLプログラム」という。）は、東北大学高度教養教育・学生支援機構で実施している長期休業を利用した約2週間の集中型短期研修プログラムです。参加学生は、担当の教員が設定した体験学習やフィールドワーク、特色ある英語や現地語講座等に参加し、さまざまな学習の機会を得ることができます。さらに、現地学生やコミュニティメンバーとの交流、寮生活など、日本では得られない貴重な体験を通じて、国際的な視野を育むことを目指します。

全学教育科目（カレントトピックス科目）前期集中講義「海外フィールドワーク」として実施されますので、所定の成績を収めた学生には、2単位が付与されます。

尚、ファカルティレッドプログラムは、東北大学が外部旅行会社に運営の一部を委託して実施します。

1. 実施プログラム詳細

別紙【2017年夏実施海外体験プログラム（ファカルティレッドプログラム/FL）募集チラシ】参照

2. 募集から報告会までの流れ

内容	日時	会場等
募 集 開 始	4月28日（金）0:00～	応募用 Web サイト「スパイラル」* で応募書類提出 *詳細は IV. 応募方法を参照。
募 集 説 明 会	5月12日（金）18:30～19:30	川内キャンパス 講義棟B棟 B101
募 集 締 切	5月28日（日）～23:59	応募用Webサイト「スパイラル」* で応募書類提出
選 考 結 果 発 表	6月12日（月）	メールで結果発表
第 1 回 事 前 研 修	カナダ: 6月22日（木）18:30～20:00	川内キャンパス（予定）
	アメリカ: 6月22日（木）18:30～20:00	
第 2 回 事 前 研 修	共 通: 7月6日（木）18:30～20:00	
第 3 回 事 前 研 修	カナダ: 7月20日（木）18:30～20:00	
	アメリカ: 7月20日（木）18:30～20:00	
第 4 回 事 前 研 修	カナダ: 7月27日（木）18:30～20:00	
	アメリカ: 7月27日（木）18:30～20:00	
現 地 研 修	カナダ: 9月9日（土）～9月24日（日） 日本出発9月9日（土） 日本帰国9月24日（日）を予定	
	アメリカ: 9月12日（火）～9月28日（木） 日本出発9月12日（火） 日本帰国9月28日（木）を予定	アメリカ
事 後 研 修	カナダ: 10月5日（木）18:30～20:00	川内キャンパス（予定）
	アメリカ: 10月5日（木）13:00～14:30	
報 告 会	共 通: 10月18日（水）18:30～19:30	

II. 応募条件

1. 応募資格：

全学部学生、大学院学生（学年不問） ※非正規生は応募できません。

2. 応募要件：

以下のすべての条件を満たすこと。

- ①5月26日（金）17:00までに学生教育研究災害障害保健（学研災）の加入手続きを済ませること（未加入の場合）。
- ②パスポートを取得または申請をしていること。
- ③FLプログラム参加に支障のある健康上の問題、懸念事項がないこと。
- ④カナダプログラムへの参加にはTOEFL-ITPのスコアが480以上であること応募要件とします。尚、過去にTOEFL-ITPを受験したことが無い方も応募可能です。未受験者は学業成績、課題作文を総合的に判断し選考いたします。

III. 応募期間

応募受付開始： 2017年4月28日（金）0:00～

応募受付終了： 2017年5月28日（日）～23:59

IV. 応募方法

1. 応募方法

- 応募用ウェブサイト「スパイラル」(<http://www.jtbbwt.com/section/kkc/tohoku-u/entry.html>)内に設置の応募フォームに必要事項を入力し応募者情報を送信するとともに、課題作文と誓約書、並びにTOEFLスコアレポート（カナダプログラムのみ）をスパイラルにより提出してください。
 - 編入学生や他大学の学部を卒業した大学院学生は、上記に加えて、学部入学時から現在までの成績証明書のコピーの提出が必要です。
- ※ 「スパイラル」は、東北大学がFLプログラムの運営の一部を委託する旅行会社が運営・管理するオンライン登録システムです。「スパイラル」の利用方法に関する質問がある場合は、4頁に記載された問い合わせ先に問い合わせてください。尚、応募の際に入力された個人情報は、FLプログラムに関する手続きや各種連絡の目的でのみ利用します。また、個人情報の取り扱いについては、委託先を厳重に管理・指導します。
- ※ スキャンデータの作成方法、PDFデータの作成方法等、パソコン操作に関する質問がある場合は、マルチメディア教育研究棟（川内北キャンパス）1階に常駐のテクニカルアシスタントへ相談して下さい。
(<http://www.cite.tohoku.ac.jp/calender.html>)

2. 応募書類作成上の注意

(1) 課題作文（1）＋（2）（全員提出）

スパイラルから課題作文入力用紙をダウンロードし、課題作文をWordで入力してください。課題作文は、入力用紙の中で指定された言語及び語彙数で作成する必要があります。入力後はPDF化し、スパイラルにて提出してください。

(2) 誓約書 (全員提出)

スパイラルから誓約書をダウンロードし、印刷したものに、直筆で署名・押印してください。保護者による署名・押印も必要です。応募者本人(学生)と保護者の双方の署名・押印がされた誓約書をスキャナで取り込み、PDF化してスパイラルにて提出してください。

※ 外国籍学生等で、保護者が日本国外に居住している場合であっても、誓約書には保護者の直筆の署名が必要となります。保護者が和文の誓約書を理解することが難しい場合、英文の誓約書をダウンロードして利用してください。

※ 参加予定者は、誓約書の原本を第1回事前研修で提出してください。

(3) TOEFLスコアレポート (対象者のみ ※カナダプログラムのみ)

ご自身でお持ちのTOEFLスコアレポートをスキャナで取り込み、PDF化してスパイラルにて提出してください。

(4) 成績証明書【写し】 (対象者のみ)

編入学生や他大学の学部を卒業した大学院学生は、学部入学時から現在までの成績証明書のコピーを川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター2階 留学生課海外留学係窓口に直接提出してください。成績証明書【原本】の提出はスパイラルではありませんのでご注意ください。

提出期限：5月26日(金) 17:00

※ 上記以外の学生の成績証明書は、留学生課で取り寄せますので、応募時に提出する必要はありません。

V. 注意事項

以下の内容を必ず読み、理解した上で応募してください。

- 募集要項、募集チラシ、Q&A、シラバス(全学教育ホームページ東北大学 学務情報システムより検索 https://www.srp.tohoku.ac.jp/sa_qj/slbsskgr.do)を全てよく読み、理解した上で応募してください。
- 選考結果発表後の辞退は、原則として認められません。事前・事後研修、事後報告会、移動日も含めた現地研修の日程等、必ず参加できることを確認した上で応募してください。FLプログラムと現地研修や出発前後の研修等の日程が重複する(一部のみの重複も含める)、東北大学グローバルラーニングセンターや所属部局等が主催する類似の海外研修プログラムとの併願は認められません。危機管理上の理由からFLプログラムへの途中参加・一部参加は如何なる理由であっても一切認められません。
- 選考結果についての申し立てや不採用理由の説明を求めることはできません。
- FLプログラムには、現地研修に加え、事前・事後研修、報告会(「2. 募集から報告会までの流れ」参照)、報告書作成や各種提出物の準備が含まれます。FLプログラムへの参加にあたっては、単位を取得する・しないに関わらず、これらの研修等全てに参加し、与えられた課題を提出することが義務付けられます。尚、課題や各種提出物の期限までの提出、事前・事後研修全ての参加が奨学金支給の条件となります。
- 日本国籍(外国籍で在留資格が「永住」の者も含む)の学部学生の場合、派遣先大学での授業料等のプログラム費のうち、3万円は受講料として参加学生が負担し、残りは東北大学が負担します。また、参加学生には8万円の奨学金が支給されます。参加候補者として選出された場合は、東北大学の代表として参加するという自覚を持ち研修に臨んで下さい。
- 大学院学生や外国籍学生が参加する場合のプログラム費と奨学金の取り扱いは以下のとおりです。
 - 大学院学生(日本国籍学生または在留資格が「永住」の外国籍学生):
プログラム費は自己負担です。奨学金は、過去に「海外フィールドワーク」の単位を取得したことが無く、指定の方法により算出される2016年度の学業成績が成績評価係数2.0(3.0満点)以上で履修登録をする学生にのみ支給予定。

▶ 外国籍（在留資格が「永住」の場合を除く）の学部学生・大学院学生：

プログラム費は自己負担です。奨学金は支給されません。

- FL プログラムに参加決定後に事前・事後研修、報告会を許可無く欠席したり、必要書類の提出を怠った場合は、奨学金の支給対象から外されたり、支給後であっても返還を求められる場合があります。
- FL プログラムに参加が決定した場合、全員、大学指定の海外旅行保険への加入が義務付けられます。海外旅行保険への加入方法は、参加者として決定後にプログラム担当者から説明されます。
- FL プログラム期間中、滞在先以外での宿泊（外泊）および滞在国以外への渡航は認められません。
- FL プログラムに参加が決定した場合、6月29日（木）までにパスポートの顔写真ページのコピーの提出が必要となります（提出方法は選考結果発表時に案内されます）。パスポートを未取得の場合は、FL プログラム応募前にパスポートの申請を済ませてください。パスポートを取得済みの場合も、予め有効期限を確認し、パスポート残存有効期間が2017年10月以降であることを確認してください。有効期限が十分ではない場合は、切替申請をする必要があります。
- 担当教官が必要と認めた場合は事前研修の回数が増えることがあります。予めご理解の上応募ください。

VI. 選考・結果通知

(1) 選考基準：

学業成績、課題作文、TOEFLスコア等を総合的に判断し、参加者を決定します。

(2) 選考結果発表：

6月12日（月）にメールにて合格者ならびに不合格者へ連絡します。

VII. 問い合わせ

株式会社JTB東北 法人営業仙台支店 （東北大学FLプログラム業務委託指定会社）

ファカルティレッドプログラム係 担当：田澤 康輝・手島 慧・野森 真理

電話：022-263-6714 ※受付時間 平日 09:30～17:30（土・日・祝日休業）

Email：faculty-led@th.jtb.jp

海外体験プログラム（ファカルティレッドプログラム/FL）
2017年夏実施プログラム Q & A

I. 応募・選考

Q1. どのプログラムに応募しようか迷っています。それぞれのプログラムについて詳しく知りたいのですが。

以下の日時でファカルティレッドプログラム（以下「FLプログラム」という。）についての説明会を実施しますので参加してください。入退室自由です。

日 時 : 5月12日（金） 18:30~19:30

会 場 : 川内北キャンパス 講義棟B棟 B101

Q2. 上記説明会に参加できませんが、応募はできますか？

説明会へ参加できない場合も応募可能です。募集要項、募集チラシ、シラバス、Q&A等を確認の上応募してください。

Q3. 英語を話すことに自信がありませんが、プログラムに参加することはできますか？

課題作文や学業成績、TOEFLスコア等を総合的に判断し選考いたしますので、自信が無い場合でも応募してください。尚、カナダプログラムはTOEFLスコア480以上を応募要件としています。

Q4. どのように応募するのですか？

応募書類や応募方法についての詳細は募集要項を確認してください。

Q5. 応募書類作成にあたり、専用ウェブサイト「スパイラル」の利用方法がよくわかりませんがどうすればよいですか？

株式会社JTB東北 法人営業仙台支店 ファカルティレッドプログラム係 直接へお問い合わせください。

TEL : 022-263-6714（平日9:30~17:30 土日祝日休業） E-mail : faculty-led@th.jtb.jp

Q6. 必要書類の一部を期日までに提出することができません。どうすればよいですか？

期日までに全ての応募書類を提出することができない場合は、いかなる理由にかかわらず選考の対象外となります。

Q7. 選考基準を教えてください。

選考は、書類選考を基本として、募集要項に記載された選考基準で実施されます。書類選考のみで判断できない応募者に限り、プログラム担当教員が面談を実施する場合があります。応募書類に不備がある場合は選考対象外となります。選考結果の理由の開示は行いません。

Q8. 課題作文の論述内容について、アドバイスや添削などはしてもらえますか？

論述内容は、審査に関わる内容のため、公平性を期するためにアドバイスや添削指導等はいま

せん。

Q9. 大学院学生、外国人留学生（非正規生を除く）は応募できますか？

応募はできますが、学部生を優先し募集人員に満たない場合のみ参加が可能です。ただし、航空券や滞在費等の参加費用に加え、プログラム費（授業料等）も全て自己負担となります（外国籍学生のうち、在留資格が「永住」の学部学生のプログラム費は、大学が負担します）。

奨学金の詳しい支給基準については、II. 費用と奨学金についての Q2. 奨学金は参加者全員が受給できますか？を確認してください。

Q10. 非正規生とは何ですか？

非正規生とは、交換留学生のように、東北大学での学位取得を目的とせず、履修や聴講、研究の目的で一定の期間のみ本学に所属している学生を指します。非正規生は、FLプログラムに応募をすることができません。

Q11. 応募の際に文系・理系の制限はありますか？

ありません。

Q12. 海外旅行保険に加入する必要はありますか？

参加者は、東北大学が指定する海外旅行保険に必ず加入することになります。加入方法等の詳細の説明は、参加者選考後の事前研修にて行います。

Q13. カナダプログラムへ参加したいと考えていますが、TOEFL スコアレポートを紛失してしまいました。スパイラルへ提出出来ませんがどのように対処したら良いですか？

TOEFL 未受験者もカナダプログラムへの参加が可能です。TOEFL スコアレポートの提出がある方が優先されますが、課題作文（書類選考のみで判断できない応募者に限り、プログラム担当教員が面談を実施する場合があります。）等を総合的に判断し選考いたします。

II. 費用と奨学金について

Q1. 参加者が支払う費用とは何ですか？

参加者は、派遣先大学現地プログラム費（30,000 円）、往復の航空券、空港からの送迎を含む現地での交通費、食費、滞在（宿泊）費、海外旅行保険、ビザまたは滞在許可取得料（該当プログラムのみ）を自己負担する必要があります。

一方、派遣先大学現地プログラム費（30,000 円以外）は、東北大学が負担します。但し、大学院学生や外国籍学生（在留資格が「永住」の学生を除く）が参加する場合は、全て自己負担となります。

Q2. 奨学金は参加者全員が受給できますか？

- 日本国籍（外国籍で在留資格が「永住」の者も含む）の学部学生の場合、派遣先大学での授業料等のプログラム費のうち、3万円は受講料として参加学生が負担し、残りは東北大学が負担します。また、参加学生には8万円の奨学金が支給されます。
- 大学院学生や外国籍学生が参加する場合のプログラム費と奨学金の取り扱いは以下のとおりです。
 - 大学院学生（日本国籍学生または在留資格が「永住」の外国籍学生）：

プログラム費は自己負担です。奨学金は、過去に「海外フィールドワーク」の単位を取得したことが無く、指定の方法により算出される2016年度の学業成績が成績評価係数2.0（3.0満点）以上で履修登録する学生にのみ支給予定。
 - 外国籍（在留資格が「永住」の場合を除く）の学部学生・大学院学生：

プログラム費は自己負担です。奨学金は支給されません。

※奨学金を受給する参加者は、事前研修、現地研修、事後研修、事後報告会の全てに参加し、課題や報告書、その他必要事項書類を提出することが義務付けられます。奨学金の支給要件を満たさない場合や、事前・事後研修・報告会を欠席したり、必要書類の提出を怠った場合は、奨学金の支給対象から外されたり、支給後であっても返還を求められる場合がありますので注意してください。

Q3. 奨学金はいつごろ支給されますか？

現地研修開始後、在籍確認が行われた上で現地研修開始後2～3週間後を目安に各参加者の銀行口座に振込まれる予定です。現金での支給は行いません。

Q4. 参加費用の支払い方法や支払い期限は、いつごろ通知されますか？

支払い方法や期限については、参加者として決定後にJTB東北法人営業仙台支店ファカルティレッドプログラム係から随時案内されます。

III. 現地での生活

Q1. 滞在（宿泊）形態にはどのようなものがありますか？

ホテル、学生寮等さまざまな滞在形態があり、基本的に2～3人1部屋へ滞在することになります。部屋割りは参加者確定後事前研修の中でマッチングしていきますが、予めマッチングについての要望を受け付けることはできません。

Q2. 滞在中にトラブルが起きた場合はどうすればよいのでしょうか？

滞在先でのトラブルについては、引率教員や派遣先大学の担当者に相談してください。また、滞在中に起こりうるトラブルに関しては、学内での事前研修で危機管理オリエンテーションを行います。24時間連絡可能な緊急連絡先も提供されます。

Q3. 病気や怪我をした時の医療費が心配です。

FLプログラム参加者は、大学が指定する海外旅行保険への加入が義務付けられます。加入保険

会社と提携する医療機関で治療を受ける場合は、キャッシュレス（医療機関から保険会社に直接請求するため、患者はその場で支払う必要がない）で受診することができます。また、提携する医療機関が近隣にない場合は、まずは自己負担し、後日請求することができます。詳しくは、事前研修の際に説明します。

Q4. 初めて海外へ行くので現地のことや持ち物などわからないことばかりです。

参加確定後、各自インターネットや旅行ガイドブック等で現地情報や持ち物等について調べましょう。また、事前研修の一環として事前調査活動も行うことになります。自分で調べて情報を得るということは、FLプログラムに限らず海外へ行く上で必須です。海外研修に「連れて行ってもらおう」のではなく、「自分で行く」という意識を持ってください。危機管理情報や参加プログラムに関する情報は、プログラム担当教員やJTBファカルティレッドプログラム係より随時提供されますので、よく理解するようにしてください。

IV. プログラムの途中変更やキャンセル

Q1. 参加プログラムの変更はできますか？

応募期間中の希望プログラムの変更は、E-mail 又は電話で受け付けます。応募期間終了後は希望プログラムの変更はできません。詳細は、JTB東北法人営業仙台支店ファカルティレッドプログラム係へお問い合わせください。

Q2. 応募後のキャンセルはできますか？

選考結果発表後の辞退は原則として認められません。プログラムの日程をよく確認し、移動にかかる前後の期間も含めて確実に参加できるプログラムにのみ応募するようにしてください。選考結果発表後、病気や事故などのやむを得ない事情で参加を辞退する場合であっても、旅行代金のキャンセル料（学生負担）が発生する場合があります。

Q3. 途中参加、途中帰国、現地研修終了後の個人旅行（日本帰国前）はできますか？

できません。日本出発から日本帰国までは団体での同一行動となります。

Q4. プログラムが中止となることはありますか？

テロや天災等、不測の事態が発生した場合には、大学の判断でプログラム実施を中止することがあります。その際にキャンセル料（航空券や宿泊費用など）が発生する場合には、参加学生の自己負担となります。

V. 履修登録、事前・事後研修

Q1. 必ず履修登録をしなければなりませんか？登録はどのように行いますか？

過去に単位取得済みの参加者を除き、成績評価を伴う全学教育科目（カレントトピックス科目）「海外フィールドワーク」（2単位）の履修を原則とします。履修登録は留学生課が行いますの

で、個人で履修登録手続きをする必要はありません。履修可能単位数の制限などの理由により履修ができない参加者は、指定された期日までに申し出ることで、履修登録は免除されます。

Q2. どうしても事前研修や事後研修に参加できない場合はどうすればよいですか？

本プログラム参加の条件として、すべての事前研修、事後研修への参加が義務づけられています。やむを得ない理由（大学の授業や試験、忌引き等）により欠席や遅刻する場合、事前に欠席・遅刻理由届を提出してください。その理由が正当であると認められれば、減点対象とはなりません。正当な理由として認められない欠席があった場合は、減点となるとともに、奨学金の支給対象から除外されたり、支給後であっても返還を求められる可能性がありますので注意してください。

VI. その他

Q1. 現在、治療中の症状や健康上の問題がありますが、応募できますか？

応募する前に、主治医にプログラム内容を説明して、参加することについての許可を得てください。海外滞在中は、環境の変化により、体調に影響が出る可能性がありますので、この点も主治医にしっかり相談してください。

Q2. この Q&A に記載されている以外の質問がある場合はどうすればよいですか？

JTB東北法人営業仙台支店ファカルティレッドプログラム係 (faculty-led@th.jtb.jp) へEメール、または電話（022-263-6714）で問い合わせることができます。メールでの問い合わせの際は、必ずパソコンのメールアドレスから送信し、①件名 ②氏名 ③学部・学年を明記してください。氏名が確認できない問い合わせメールには返信しませんので注意してください。